



# 小合中学校だより

第406号  
教育目標  
自主  
協力  
創造

## 今年度の小合中学校

校長 太田 公仁

三月四日（月）、第77回卒業証書授与式を挙行し、卒業生23人が学舎を巣立っていきました。万感迫る思いで卒業生一人一人に卒業証書を授与いたしました。卒業生は、当校で学んだ三か年に充実感と達成感をもち、なおかつ地域・保護者の皆様に感謝の気持ちをもって卒業していきました。彼らの所作、立ち居振る舞いからそのことを強く実感した次第です。

今年度も様々な変化のあった年でした。5月のコロナ感染症の5類移行という社会の大きな動きを受けて、教育活動の再構築が行われました。結果として、コロナ前に戻る教育活動と、コロナ対策を踏まえて変化した教育活動があり、私たち教職員はあらゆる教育活動の意味、意義を問い直し、実施することとなりました。例えば、今年度の修学旅行は東北地方をフールドに二泊のバス旅行を実施

しました。コロナ禍において、それでも修学旅行の教育的意義を保護者と共有し、実施する方途を探ったの修学旅行でした。体育祭、合唱祭等の中核となる学校行事すべてにわたって、その開催の教育的意義を確かめ、コロナ前とは少なからず変化のあるものを実施することができました。

地域・保護者との協働のより進んだこともありがたいことでした。コミ協芸術祭の際に、生徒が育てた作物を地域の皆様に販売する活動を実施いたしました。総合的な学習の中核的活動として、キャリア教育をねらった生産・販売活動が一つの形となって定着いたしました。また、PTAと連携し、すべての学年で発達段階に応じた進路学習会を行っていただいたことも成果の大きいことでした。

社会の変化と要請を踏まえ、小合中学校は伝統に立脚した新たな歩みをすすめています。

## 後期の反省

一年

一年生は前期よりも学校生活に慣れて、初めてのことで自分達で支え合い、学級目標に向かって学校生活を送ってきました。

後期の大きな行事であった合唱祭では「空は今」を歌いました。

ソプラノとアルト、男性パートに分かれて歌うのは初めてで、最初はうまく合いませんでしたが、強弱や声の大きさなどを意識して修正を重ね、本番ではとても綺麗な歌声を響かせることができたので良かったです。

総合の学習では、来年度入学してくる小学六年生に向けて、学校についてのプレゼンテーションを作りました。班で話し合い、言葉だけではなく、イラストや動画を活用して完成させました。発表の練習をすると、時間が短すぎたり、内容不足だったりと直さなければいけないところがたくさん出てきました。どうしたらわかりやすく

なり、六年生が興味をもってくれるかを考え、話すスピードや声のトーンなど、細かいところまで工夫しました。完成まで時間がかかってしまったので、今後は、納得いく内容を時間内に作り終えることを意識したいです。また、他の教科でもプレゼンテーションを作ることが多くあるので、そこで学んだことを来年度にも活かしていきたいです。

普段の学校生活では声を掛け合い、メリハリをつけて係や委員会活動を行うことができました。学級目標が完全に達成できた訳ではありませんが、積極的に発言したり行動したりして、とても個性豊かなクラスになりました。

四月には新一年生が入学し、先輩になるので、三年生のサポートをしたり、後輩に優しく接するようになりたいです。また、新しく学級目標を設定して、三十一人で学校生活を楽しみ、さらに良いクラスにしていきたいと思っています。



二年

後期の生活の中で、二年生はクラス全体の活動に対して、みんなが積極的に動けるようになりました。前期までは誰かに言われてから動くことが多くありましたが、後期は自分で周りを見て行動することがクラス全体で増えてきました。この変化によって、話し合いの時に積極的に意見が出て、スムーズに話し合いが進んだり、多くの意見が出ることによって、さらにいいアイデアが生まれたりするようになりました。

もう一つ、大きな変化があったのは、勉強に取り組むときの意識です。三年生に近づくにつれて、勉強の目的が少しずつ明確になってきました。課題はこなすだけのものではなく、分からないことを分かるようにするためのものだという考えに変わりました。また、テスト勉強以外の場面でも、授業で分からないところを友達に聞いて、分からないところをみんなと解決していくようになりました。

私たちはもうすぐ最高学年の三年生になります。受験という大きな壁に直面しますが、二年間共に

成長してきた仲間と力を合わせて頑張ります。何もやらずに後悔するより、やって後悔した方がいいと思うので、三年生ではクラスのみんなで今まで以上に何事にも全力で頑張ります。

## 同窓会入会式

去る二月二十一日（水）令和五年度小合中学校同窓会入会式を行いました。当日は同窓会会長の阿部秀一様、副会長の近藤陽一様と田村由美子様に参加いただきました。第77回生の学年評議員として次の四名の生徒が委嘱されました。

